

平成16年度決算のあらまし

市の財政を見てもみよう

市では、毎年6月と12月に「市の財政事情」を公表しています。今回は、平成16年度の収支の状況、市有財産、市債の現在高などの決算状況についてお知らせします。

17年度の上半期(4月～9月)の予算執行状況についてもお知らせします。

平成16年度の静岡市支出総額は、4,939億6,803万円(一般会計2,466億2,607万円、特別会計1,697億4,605万円、公営企業会計775億9,590万円)で、15年度決算総額5,321億408万円に比べ、7.2%減少しました。

問い合わせ

市財政課へどうぞ
☎ 054-221-1026
FAX 054-221-1749

<http://www.city.shizuoka.jp/deps/zaimu/zaisei/16kesan.html>

各会計ごと1万円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

一般会計

< 市民1人あたりの市税負担額 >

市民税
6万2,221円
(436億6,274万円)

固定資産税
7万5,819円
(532億465万円)

都市計画税
1万5,199円
(106億6,547万円)

市たばこ税
6,598円
(46億3,002万円)

事業所税
2,674円
(18億7,647万円)

軽自動車税ほか
1,165円
(8億1,734万円)

市民1人あたり...
平成11年度...17万9,466円
平成16年度...16万3,675円

市民1人あたり...
平成11年度...36万6,880円
平成16年度...35万1,452円

< 市民1人あたりの行政経費 >

民生費
7万7,637円

公債費
6万6,532円

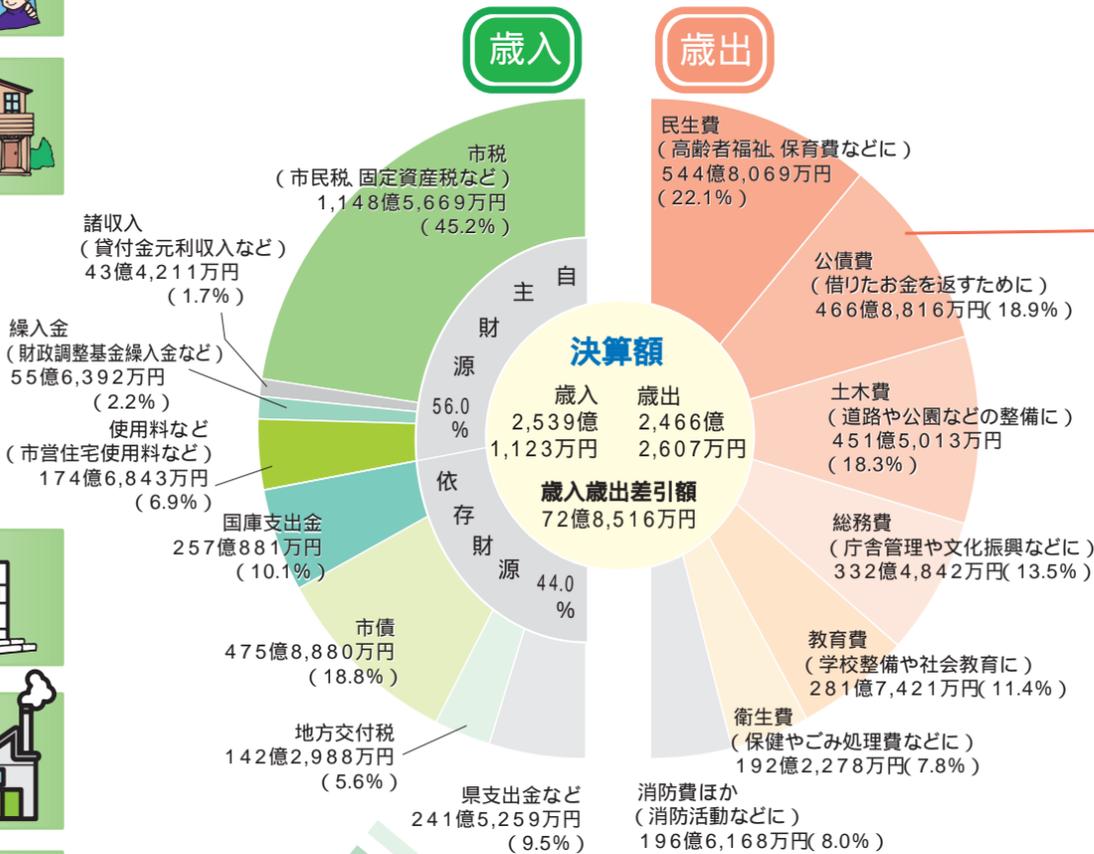
土木費
6万4,341円

総務費
4万7,380円

教育費
4万149円

衛生費
2万7,393円

消防費ほか
2万8,019円



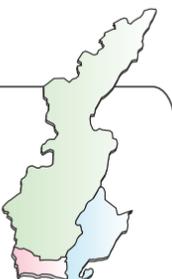
市民1人あたりの借入金返済額【公債費】
平成11年度...4万 650円
平成16年度...6万6,532円

用語の解説

自主財源 市税、使用料など市が自ら収納、徴収できる財源のこと。安定した行政運営のためには、歳入総額に対する割合が大きいほど望ましい。
依存財源 自主財源に対して、国庫支出金や地方交付税など国や県の基準により交付されたり割り当てられたりする収入のこと。
市債 (公債費) 大規模な施設の建設や土木工事などを行うための資金を調達する手段として、国や銀行などから長期にわたってお金を借りること。



市民1人あたりの金額 =
その年度の各総額 / その年度末の市の人口
(住民基本台帳)
平成11年度末: 70万8,501人
平成16年度末: 70万1,735人



特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に一般会計と区分して経理する会計で、16年度は14会計ありました。これらの16年度決算額は、次のとおりです。

会計名	歳入合計	歳出合計	差引額
電気事業経営記念基金	7億7,319万円	7億7,287万円	32万円
土地区画整理清算金	527万円	446万円	81万円
公共用地取得事業	9億2,172万円	9億2,083万円	89万円
母子・寡婦福祉資金貸付金	2億9,699万円	2億7,105万円	2,594万円
競輪事業	281億2,736万円	265億7,881万円	15億4,855万円
国民健康保険事業	574億6,920万円	546億4,968万円	28億1,952万円
簡易水道事業	6億9,706万円	6億9,058万円	648万円
老人保健医療事業	534億9,822万円	538億130万円	3億308万円
農業集落排水事業	4億6,189万円	4億5,994万円	195万円
清掃工場発電事業	2億5,649万円	2億2,990万円	2,659万円
駐車場事業	3億2,922万円	2億2,638万円	1億284万円
介護保険事業	304億7,715万円	303億1,232万円	1億6,483万円
介護保険サービス	1億1,941万円	1億1,929万円	12万円
中央卸売市場事業	9億3,701万円	7億866万円	2億2,835万円
合計	1,743億7,017万円	1,697億4,605万円	46億2,412万円

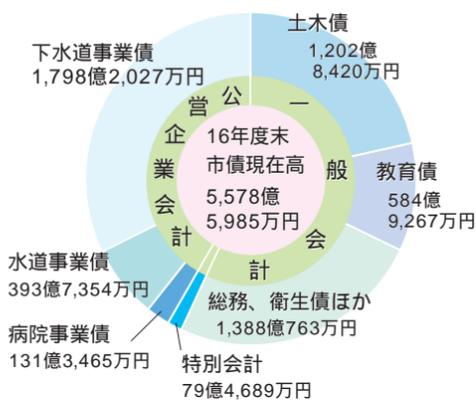
公営企業会計

公営企業会計は、民間企業と同じような経営をしている事業で、病院事業、水道事業、下水道事業の3会計があります。これらの16年度決算額は、次のとおりです。

会計名	収入	支出	差引額	
病院事業	収益的	247億5,255万円	246億6,776万円	8,479万円
	資本的	381万円	11億1,520万円	11億1,139万円
水道事業	収益的	107億3,040万円	86億1,730万円	21億1,310万円
	資本的	32億2,331万円	64億6,112万円	32億3,781万円
下水道事業	収益的	202億2,779万円	202億2,735万円	44万円
	資本的	83億483万円	165億717万円	82億234万円
合計	672億4,269万円	775億9,590万円	103億5,321万円	

は不足額 / 資本的収支の不足額は損益勘定留保資金等で補てんしました。なお、決算額は、消費税を除いた数字です。

市債の状況



市民1人あたりの借入金残高
【市債現在高】
平成11年度... 74万2,529円
↓
平成16年度... 79万4,972円

市の財産

区分	数量	評価額
公有財産	土地()	27,279,675㎡ 9,799億8,493万円
	建物	2,338,248.41㎡ 3,833億5,301万円
	有価証券	— 3億4,500万円
	その他	— 3,776億5,367万円
物品	車両1,213台ほか	83億1,979万円
	債権	— 29億1,617万円
基金	積立現金	37件 283億110万円
	資金(有価証券)	— 22億7,067万円
	定額資金	3件 28億9,987万円
	計	— 334億7,164万円
建設仮勘定	—	106億8,515万円
合計	—	1兆8,302億100万円

道水路・漁港敷を除く



市民1人あたりの預金【基金】
平成11年度... 6万644円
↓
平成16年度... 4万7,698円

平成17年度上半期 予算執行状況 4月～9月

一般会計

予算額 2,558億3,245万円
収入済額 1,081億6,235万円(執行率42.3%)
支出済額 916億7,488万円(執行率35.8%)

上段:予算額 下段:収入済額(執行率)	歳入	歳出	上段:予算額 下段:支出済額(執行率)
1,132億円 610億371万円(53.9%)	市税	土木費	737億2,342万円 229億348万円(31.1%)
359億2,380万円 9億8,720万円(2.7%)	市債	民生費	566億9,584万円 202億1,225万円(35.7%)
313億9,387万円 63億1,442万円(20.1%)	国庫支出金	総務費	273億3,015万円 104億1,276万円(38.1%)
54億4,134万円 16億2,978万円(30.0%)	諸収入	公債費	328億5,190万円 153億4,283万円(46.7%)
133億9,191万円 108億8,394万円(81.3%)	地方交付税	教育費	244億321万円 97億4,963万円(40.0%)
79億6,605万円 16億24万円(20.1%)	県支出金	衛生費	210億828万円 65億9,349万円(31.4%)
53億910万円 39万円(0.0%)	繰入金	消防費	78億5,093万円 32億5,113万円(41.4%)
432億638万円 257億4,267万円(59.6%)	その他	その他	119億6,872万円 32億931万円(26.8%)

特別会計

予算額 2,089億5,884万円
収入済額 800億956万円(執行率38.3%)
支出済額 828億1,036万円(執行率39.6%)

会計名	予算額	収入済額	執行率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	589億7,273万円	211億9,090万円	35.9%	238億5,441万円	40.4%
老人保健医療事業	515億4,683万円	236億7,159万円	45.9%	237億6,297万円	46.1%
競輪事業	268億9,267万円	68億4,995万円	25.5%	55億4,707万円	20.6%
介護保険事業	350億1,451万円	116億7,819万円	33.4%	132億8,053万円	37.9%
公共用地取得事業	1,090万円	590万円	54.1%	501万円	46.0%
駐車場事業	3億7,512万円	1億7,961万円	47.9%	1億246万円	27.3%
中央卸売市場事業	10億6,441万円	4億8,467万円	45.5%	3億3,468万円	31.4%
電気事業経営記念基金	5億7,300万円	1億3,656万円	23.8%	1億3,472万円	23.5%
簡易水道事業	5億7,941万円	1億6,020万円	27.6%	1億3,458万円	23.2%
農業集落排水事業	5億7,675万円	955万円	1.7%	6,745万円	11.7%
清掃工場発電事業	1億480万円	1億2,203万円	116.4%	5,185万円	49.5%
母子・寡婦福祉資金貸付金	2億7,200万円	1億1,982万円	44.1%	1億2,408万円	45.6%
介護保険サービス	1億3,472万円	5,551万円	41.2%	6,559万円	48.7%
土地区画整理清算金	900万円	226万円	25.1%	0万円	0.0%
公債管理事業	328億3,200万円	153億4,283万円	46.7%	153億4,495万円	46.7%
合計	2,089億5,884万円	800億956万円	38.3%	828億1,036万円	39.6%

公営企業会計

会計名	収入			支出			
	予算額	執行額	執行率	予算額	執行額	執行率	
病院事業	収益的	244億6,014万円	111億8,971万円	45.7%	244億6,014万円	106億5,679万円	43.6%
	資本的	780万円	6万円	0.8%	18億8,709万円	7億8,887万円	41.8%
水道事業	収益的	112億5,800万円	56億1,303万円	49.9%	96億4,052万円	30億8,875万円	32.0%
	資本的	36億5,350万円	0万円	0%	102億1,832万円	66億886万円	64.7%
下水道事業	収益的	203億2,540万円	108億8,182万円	53.5%	203億2,540万円	54億1,314万円	26.6%
	資本的	144億3,147万円	44億6,276万円	30.9%	248億2,397万円	99億2,228万円	40.0%

予算額等は、消費税込みの数字です。

合併・政令指定都市のメリット その17

「全国型市場公募地方債」を発行

市では、全国の機関投資家や個人から広く資金を借り入れる「全国型市場公募地方債」100億円を11月25日に発行しました。「地方債」とは、地方自治体が道路や公園、公民館などを建設したりする財源として、政府系金融機関や銀行などから借り入れる「借入金」をいいます。今回の「市場公募地方債」発行は、

政府系金融機関からの融資減少が見込まれる中、資金調達方法を多様化することにより、安定的で有利な資金の確保を目的としています。

政令指定都市に移行した静岡市の、さらなる発展の可能性や財政の健全性などをアピールするとともに、民間投資にこたえられる財政運営の推進を図っていきます。

平成16年度

バランスシートを
ご覧ください静岡市の資産や負債の状況が
一目で分かります。

市では、平成16年度の普通会計(注)について、現行の歳入歳出の会計処理では明示されない資産と負債の情報を明らかにするため、バランスシート(貸借対照表)を作成しました。

バランスシート
の作成方法

①対象会計

普通会計を対象としています。

(注)普通会計は、一般会計と特別会計のうち電気事業経営記念基金会計、土地区画整理清算金会計、公共用地取得事業会計、母子・寡婦福祉資金貸付金会計が対象です。

②平成16年度が対象

平成17年3月31日を作成基準日としています。

③基礎数値

昭和44年度以降の総務省決算統計データを基礎数値としています。

④有形固定資産評価の方法

昭和44年度以降の総務省決算統計の建設事業費を取得原価としています。

⑤減価償却

有形固定資産(土地を除く)については、耐用年数を用いて、定額法により行っています。

⑥退職給与引当金

普通会計の業務に従事する職員が、年度末に全員普通退職した場合に要する退職手当支給額を全額計上しています。

⑦債務負担行為

債務はあるが既に物件の引き渡しを受けたものは負債として計上(資産にも計上)しています。

平成16年度 バランスシート (平成17年3月31日現在)

単位:千円

借方	貸方
[資産の部]	[負債の部]
1 有形固定資産	1 固定負債
(1) 総務費 35,731,804	(1) 地方債 292,959,297
(2) 民生費 24,050,762	(2) 債務負担行為
(3) 衛生費 57,966,679	物件の購入等 370,000
(4) 労働費 3,570,115	債務保証又は損失補償 0
(5) 農林水産業費 49,719,313	債務負担行為計 370,000
(6) 商工費 18,238,708	(3) 退職給与引当金 52,726,661
(7) 土木費 491,494,081	【固定負債合計】 346,055,958
(8) 消防費 9,424,719	2 流動負債
(9) 教育費 238,428,699	(1) 翌年度償還予定額 25,163,006
(10) その他 312,715	(2) 翌年度繰上充用金 0
計 928,937,595	【流動負債合計】 25,163,006
(うち土地 356,844,393)	負債合計 371,218,964
【有形固定資産合計】 928,937,595	[正味資産の部]
2 投資等	1 国庫支出金 113,175,629
(1) 投資及び出資金 23,879,381	2 都道府県支出金 42,238,540
(2) 貸付金 2,391,824	3 一般財源等 474,729,723
(3) 基金	正味資産合計 630,143,892
特定目的基金 19,108,553	
土地開発基金 2,850,000	
定額運用基金 49,866	
基金計 22,008,419	
【投資等合計】 48,279,624	
3 流動資産	
(1) 現金・預金	
財政調整基金 5,754,058	
減債基金 2,546,851	
歳計現金 7,313,109	
現金・預金計 15,614,018	
(2) 未収金	
地方税 7,630,202	
その他 901,417	
未収金計 8,531,619	
【流動資産合計】 24,145,637	
【資産合計】 1,001,362,856	【負債・正味資産合計】 1,001,362,856

バランスシートによる
財政状況

昭和44年4月1日から平成17年3月31日までの36年間に形成した資産の合計は、約1兆13億円です。

資産取得の財源としての「負債」は約3,712億円で、資産総額の37%。資産から負債を差し引いた「正味資産」は、約6,301億円で、資産総額の63%になっています。

①資産(翌年度以降に残る財産)

有形固定資産は土地や建物、機械装置など、長期間にわたり使用するもので、資産の92.8%を占め(そのうち土地は35.6%)、減価償却を控除した額を計上しています。投資等は財団法人設立のための出資金などを計上。流動資産は現金・預金と未収金に分類しています。資産を市民1人あたりに換算すると約143万円になります。

②負債(将来の世代が負担する地方債など)

固定負債は地方債、債務負担行為、退職給与引当金に分類しています。債務負担行為は、物件の購入などのうち、既に引き渡しを受けたもので債務が残っているものを計上。退職給与引当金はこれまでの在職期間に応じ支払われるべき額を算定し計上しています。流動負債は、翌年度償還予定額と翌年度繰上充用金に分けられ、翌年度繰上充用金は普通会計では該当がないため計上していません。負債を市民1人あたりに換算すると約52万9,000円になります。

③正味資産(資産から負債を差し引いた資産)

「資産」を取得する財源として、負債を差し引いたものを、国・県支出金及び一般財源等に区分しています。国・県支出金の金額は、資産の減価償却にあわせて償却した後の額を計上。正味資産を市民1人あたりに換算すると約89万8,000円になります。

債務負担行為に係る補償等	物件の購入等に係るもの	15,435,319 千円
	債務保証又は損失補償に係るもの	18,852,000 千円
	利子補給等に係るもの	269,117 千円

□平成16年度の静岡市及び、市土地開発公社などの関係団体の資産の状況を表す地方公共団体連結バランスシート(試案)を作成中です。来年1月初旬から市ホームページに掲載します。